

日本盆栽作家協会会報

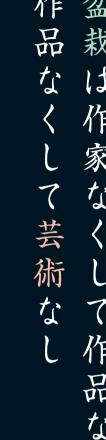
第22号 平成26年10月1日



作 盆 栽 家 作品

日本盆栽作家協会は、 を育てていきたいと考えて 盆栽界の発展 い Ø め に 真 Ø 盆 栽 の

て自 の いわな Ø 手元に持つと、 いまでも、 初め の目 て愛情をかけて欲し て芸術たりうる 真に自分の「作 識を持ち、 最低でも五年は手元に持っ しさがわ も 個 い い 性 Ø が 的 こな 誕 な 生 作 い る بح





琴糸南天 菊岡成泰

晩秋に色あでやかに紅葉する姿が特徴の「琴糸(錦糸)南天」。大変に 成長が遅く、その鉢古さが偲ばれます。

長寿梅 山田登美男

ボケ科のシドミの変種で、江戸時代に発見されて久しいものです。時代を越えて人気があり、特に四季 咲きすることから、オメデタイ「長寿梅」の名が付けられています。梅花によく似た気品があります。



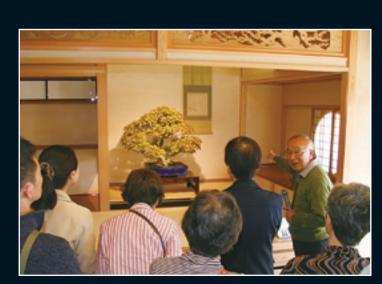
前期展示作品

主会場

/日本盆栽作家協会/前期 平成25年10月25日(金/前期 平成25年10月25日(金/前期 平成25年10月28日(金/前期 平成25年10月18日(金/前期 年10月18日(金/前期 年10月18日(金/前祖 年10月18日(金/前年10月18日(金/前期 年10月18日(金/前期 年10月18日(金/前) 年10月18日(金/前期 年10月18日(金/前) 年10月(金/前) 年10月(金/前) 年10月(金/前) 年10月(金/前) 年10月(金/前) 年10月(金/前) 年10月(金/前) 年10月(金/前) 年10月(金/前)

金金

水水



第 22 回 作家展(作品の説明をする山田会長)

一檪(いちい)

野上寿明

十年ぐらい前に山取りさ れ、譲り受けたものです。 当時二本の水すいであっ たものを、一本の高い方 を切り取り、短い方で作 り込みました。自然の幹 のおもしろさを活かすよ うに、手をなるべく加え ず、自然のままに作り込 んだ作品です。







五葉松 山田登美男

秋の気配を濃くしている山里の松林は、非常 に美しい景観となることがあります。そのよ うな静かな美しさを再現した作品です。



五葉松 田中泰道

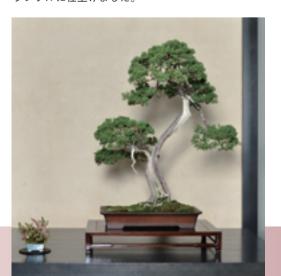
5

昭和40年頃、山採りができなくなり、日本中の山採り 五葉松が少なくなって、山の実を畑にまいて作りました。 以後50年ほど経っています。





希少価値が高く、人気の天然糸魚川明星山の真柏を シンプルに仕上げました。





真柏(銘清風) 小林國雄

今までの私の作風は基 本に固執した樹形でし た。盆栽にかかわり40 年模索し続けた盆栽美 とは、「面 | ではなく「線 | の表現にあることに気 づきました。この作品 を以前の姿(上写真) と比較してみて下さい。 表面を綺麗にするので はなく、自然界の厳し さを現出して、風趣・ 風韻を引き出しました。





カエデ石付 矢内信幸

極小の葉性で、永年の鉢持ち込みで端正された 楓盆栽は、これからの紅葉の美しさが楽しみな 作品です。根元の水溜自然石と調和した美しい 姿が見どころです。



杜松 米沢増雄

細幹の老木で、天神を強調した作品で知られている 杜松。精神性の高いサバ幹の動きが印象に残る一盆 といえます。

盆栽、水石の源流を探る

一 盆栽、水石の礎になった中国盆景の歴史と思想 一

国神仙思想、

不老長寿の概念は日本の禅

そして侘、

寂の美学に共通

事ができる。これがいわゆる「神遊」である。

の気と一体となり、

山水の世界に逍遥する

中国盆景理念と相違することはない。

(禅)が日本盆栽の根本理念であり、

が生動するのである。至高霊妙な山水の

す事である。それによって気の韻(ひびき)

本来の狙いは「気」

気を画図に写すことができれば観者は山水

は何も変わっていない。道教、で養育し、成就させたもので、

中国盆景を日本の土

儒教、仏本質的に

日本盆栽作家協会幹事

須藤雨伯

~中国・西安で開催された2013年「唐苑的世界盆景対話」での筆者の講演と対話より~ ※ 紙面の都合で、本稿は、大幅に抜粋・要約されており、詳細は、日本盆栽作家協会 のホームページを参照されたい。(http://nbsk.info)

しむものである。そして山水とは単なる水石は、山水、景情を想い自然美を楽

水石美について

で観賞されるもの、山水を表面化したもや仮山(山水庭園・枯山水)と同じ目的存在であり、水石は本質的には、山水画術等の文化的価値と不可分に結びついた

美の極致と述べている。和によってかもしだされる境地こそ水石和になれを派える。この動と静、硬と

徴であり、 山や川でなく、

哲学・宗教・歴史・文学・美6く、俗界に対峙する精神的象

持てる程度の大きさの一個の自然的で自水石の定義としては、「無理をしないで

然景観の美を表現しているもの」となる。

大貫忠三氏は、石が景勝を表現し水が

を根底として伝統的に育まれた奥ゆかしくる。盆栽も水石も日本人の自然愛の心

い趣味である。

本の文化・思想となり、

-の文化・思想となり、水石が成立してこれらの中国の神仙道教上の思想が日

山であり、盆上におさめてしまったもののが山水画であり、立体化したものが仮で観賞されるもの、山水を表面化したも

然の風景(真山水)のみならず胸中の

非常に広い概念であり、

、道教、蓬莱山やい概念であり、自い概念であり、自

と、美しいと感じるものを静かに眺める

める為には石についての知識を深めるこ

無声の山水詩と言われ、

が盆石(水石)である。この場合の水石は、

根底とする働きであり、その意識を高するということは、各個人の芸術意識をたものであり、その自然の中に美を発見大自然の偉大なる力によって創成され

というこの高度な観賞をすること

の対話より中国盆景芸術家協会・徐民凱先生と

が回答されています。 先生への質問内容で、それに対して徐先生1~4の太字小見出しは、筆者から徐民凱

景始祖論」等多数あり。 術家協会所属。著書に「中国盆 徐民凱 … 中国盆景芸術大師。中国盆景芸

継承されてきたのは何故なのか中国において盆景が2000年以上

文明に盆景文化は発生しなかった。 切にした。これに対して草原の馬・狩猟 米・食材など生き物を育成することを大 しかも中国は、 山、水、花、木、草が好きである。 特に農耕文明だったので、 自然から生れたので美し

景ラインの表現に利用し、 詞、歌で盆景を褒め、 じ中国の主要文化思想を映し続けてきた。 盆景で詩や絵の境地を表し、美しい詩、 書道のラインと音楽のリズムを盆 画で美しい盆景を 盆景芸術を通

2 中国盆景は何の為に存在したのか

人間の精神需要と物質需要によ

最も重要なのは精神上

然美を映しながら、 -を表し、作者の思想情感を入れ、 石を素材にし、 芸術創作を通じ、 作者の人生コンセプ Ė

(2) 審美上の需要

るようここう。

(3) 物質上の意味

り、次第に産業を成し経済の発展につな性を備えている。ニーズあれば市場はあ 対象として、 人間は、 精神上の満足を求める。 つて、精神と物質による二つの特正との満足を求める。盆景は審美に上の満足を求める。盆景は審美

特に道教中の

道を修めることにより「仙」になり 人·物一体化

物に入れる目的を遂げる。 盆景芸術において、 命のある花、草、

るようになる。

「気」と「不老長寿」について

げるという思想に影響され、盆景人は、 を通じて不老長寿という美しい願望を遂 人間と自然の調和を極め、

(樹姿、 樹相、

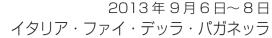
マスター 神と情感を合わせ、心を込めて樹木内在自然物への表現能力を高める。そして精 目的を遂げる。その為、 樹木の姿を見て、その様々な姿の特性を 性的に認識することは必要となる。 する。自然物にも欠陥があり、 の気質と霊性を悟り、 自然の美を凝縮再現し、 形神上の再現を遂げる。「心」は、我り消し、低減、構築という過程を 模写することで作者により 陥があり、必ず心に 真実の樹木を把握 まず、樹木を理 情を物に入れる

芸術創作の源でな経て、形神上の り、盆栽の心を理解する礎となり、盆栽ることは日本盆栽の根源を知ることであこのように、中国盆景の何たるかを知 作家の精神を高揚させる参考となると信 であり根本である。「心」

により、 も延ばしたいと思っている。 生命と作品を一体にし、 盆景を毎日観賞することにおい 的を遂げる事を希望し、かつ盆景の創作身を修めて人格を磨いて寿命を延ばす目 自然を写すとは何か? 自分の人生コンセプトを入れ、 植物や山石を媒介物にし、 自分の精神生命

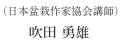
など)

従って





地元で探石した水石





BONSAI サマーフェスティバル イタリア大会





開催され、講師として 招かれ参加しました。 大会としては、既に 8月31日から、誰でも 無料で展示できる盆栽 無料で展示できる盆栽 目から8日までの最後 日から8日までの最後 開催され、講師とし会が、イタリア・ファ ラで

かので、作部山ば、作の採

イタリア人は、山坪のりして来ても、一部のりして来ても、一部のり方が分からない。其本的な事は分かっている様だが、木を目の前る様だが、木を目の前にすると発想が浮かば

て活動しました。 9月6日の最初のワークショップから、いきなり30分遅れの開催で、これがイタリア催で、これがイタリア 催で、これがイタリアでしたとでびっくりがとのことでびっくり

を得る様勧めた。実演として、一本づつ先を見極め、実際に木筋を見極め、実際に松を描いて、それに合給を描いて、それに合わせて木作りをする様わせて木作りをする様に皆ア然としていました。 ような雑誌からヒントはか分からないらしい。 学び、樹形は、国風盆 が、樹形は、国風盆

(右頁) デモンストレーション (上) ヨーロッパ支部役員達と共に

(左) 地元の新聞にも紹介されました

懇親会では、美味しい食事の後、お楽しみい食事の後、お楽しみで5枚のくじ券を会員で5枚のくじ券を会員が購入し、景品は、山野草や小品盆栽、地元の石、盆栽雑誌等で盆の石、盆栽雑まででといった感じで盛り上がっていました。 います。
ルアップしていくと思
ルアップしていくと思
でした。今後イタリア

5.000 APASIONADOS DEL BONSAI

Consisting 80 invane Insertium Park appetre en termin de tel lagion, enseit to siembro de la jugion, enseit to siembro de la jugion, enseit to siembro de la Comprese Nacional Appetra il forma Salaia Appetra. Esperia, esperializa para la concentración-ense a pública. Sort la seria hay el Sectif o expens de la disprese de la comprese del comprese de la comprese del comprese de la comprese de la

頂きました。 カステリョン市内を カステリョン市内を 散歩すると、イタリア と街並みの雰囲気が違 かとびっくり。そして スペインの盆栽事情で 特徴的なのは、イタリアもそうですが、とに かく若い人が多い! す術は、まだまだイタリアには及ばないも のの、熱気は十分に伝わってきます。 講師として参加させてれ、イタリアと同様に ペイン大会が開催さ

参加しての立食パーティー。その間、床の間の飾り方を実演しました。
最終日は、地元のカステリョン盆栽会会長フェルナンド氏と盆栽フェルナンド氏と ションを行いました。 針金かけは2人とも 上手くないけど、形は、 さまになっている。会 員の皆さんは、熱心で、 でした。 3人でデ ザビエル氏と モンストレ

日本大使館駐在員等が始。カステリョン市長、 食パパ

先週の



3人でのデモンストレーション







(上) オープニングセレモニー (左上・左)女性会員も参加してのワークショップ

0 3年 9月3日~15日 カステリョン市

B

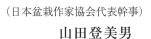


場と室内展示場に分かれて

作品が集められ、

屋外展示

中国各地からすばらしい





第7回世界盆栽大会









て翌日25日から3日間私は、9月24日に出 前10時から、 参加でありました。 場で開催され、 世界大会に招待されて出席 400名位で20カ国からの 宝盛園で開催された 開会式は25日午 ヨーロッパ広 参加者は約 は「大宮音頭」を踊り締め読された。ジャパンナイト 読された。ジャパンナイトセージを農水省副大臣が代 3日目は、第8回大会の

申請書の提出をせず、さいいたま市の動きを見て開催候補の予定であったが、さ催された。当初、台湾が立 での開催が決定された。 第8回大会は、さいたま市 ンだけが行われ満場一致で、 たま市のプレゼンテーショ 催された。当初、台湾が立開催地の選定で理事会が開 今後の準備次第で、グロ

の胡会長が歓迎の挨拶を

の挨拶、更にWBFF会長園主、辛宝盛氏より開会

まいりたいと期待する次第としても全面的に協力して 文化の道が開くことだろうバル時代にふさわしい盆栽 日本盆栽作家協会

ト」を開き、清水勇人さい

としたいところである。 辛園主のご努力を心から多 未完成のところもあったが、 の盛大な催しとなり、

である。

大いに力を借

つなげるべきである。 中国の盆栽に対する

盆栽の普及発展に

ことは有り難いこと 協力していただける



左頁写真5点







会場で握手する中国盆景芸術家協会会長 蘇放氏と山田代表幹事



「古鎮 盆景国家大展」会場風景。

2 0 13中国 古鎮 盆景国家大展

中国・広東省中山市 13年9月29日~9月30日

を演出する余韻のあ 賞できた。ただ床飾り なのでゆったりと観 盆栽を愛する人々の る席飾りもあればな しかった。 与えてい

お良かったと思う。 かに大きく、 中国の大型盆景は、 「気」をもら

縮された中に広がり 詩や俳句のように凝 形小相大」という短 日本の場合は、

させられた。 これから情熱の高さには敬服

主導権を握りそうだ。 世界の盆栽は中国が

景にある目に見え が確立された。その をも想像さ のあわ

ある愛好家や業者がいずれにしても力の

人の感性と美意識に

11



いわしで 山田登美男

今年の夏は大変な猛暑で葉物盆栽は培養に気くばりを要しましたが、ようやく秋の紅葉シーズンとなりました。根張り よく、安定した双幹の老木と鉢との調和が景の広がりを更に引き立てています。



真柏 今井千春 細幹ながら、水吸い、舎利の絡みは理想的で枝葉の量を抑え、 自然の厳しさと共に優雅さを表現しました。



皐月 (晃山) 秋山 実 皐月の枝棚は、平面的に作るのが一般的ですが、枝に縦 の動きをつけ、自然味のある樹形作りをしてみました。

台湾、イ 盆景の理論を共有でき 等、多くの国々より参加、 栽文化を代表する人達が 社、研究家等、 り盆栽の学者、 となる地で、 夜明けとも言える大会と を発表し、対話し、 盆栽理念、美学、 それぞれの国の特徴ある ム、インド、マレーシア なった。盆栽歴史の源流 栽界のグ スエーデン、 スペイン、 りであったといえまとは、大変意義深い 日本、 - タリア、 世界各国よ アメリカ、 雑誌出版 世界の盆 ル 現況等 ベトナ 時代の フラン ハンガ

源を知ることであり、

盆

知ることは日本盆栽の根

国盆景の何たるかを

それらの論説により、

栽の心を理解する礎とな

揚させる参考となると考

(須藤雨伯)

盆栽作家の精神を高

然を写すこと、思想、作風、美 でした。 術大師の徐民凱先生より 質問事項)に中国盆景芸えた影響等々、7項目の の回答はすばらしいも 回答を頂きましたが、そ 、作風、美意識、自然(中国盆景の歴史、 日本に与 0

栽、水石の源流を探る (論説の詳細は、P6の「気 を参照下さい。)

会として開催されます。コーディる「世界盆栽大会」のプレ国際大

後期展示作品

論壇の最初に筆者 問題を提出 してい

2013年、

国

お知らせ

ジウム開催は、 ジウムを開催します。 その目的に向かって今回のシンポ 確立する為、 社会的に高品位なブランド盆栽を スシンボルとしての位置づけと、 とは不可欠であると考えており 盆栽界において、 作家の高揚を図るこ

(2017年)に日本で開催され際シンポジウム」は、平成29年今回、開催予定されている「国 変に盛況でした。 ストによる催しでありましたが大 木禮二館長、その他二人のパネリ 島秀夫先生、 日本盆栽学会副会長で弁護士の丸 愛好者で仏文学者の栗田勇先生、 印象深い思い出があります。 プン記念シンポジウム」であり、 が主催した「高木盆栽美術館 オ 高木盆栽美術館の高 20年程前に当協会 最初のシンポ 盆栽

平成28年2月11日 (祝日) 平成3年2月11日 (祝日)

東京大手町 よみうりホー

さいたま市大宮盆栽美術館 (一般社) 日本盆栽協会(予定) NHK、読売新聞(予定)

協賛 後援

日本盆栽作家協会

栽界から二人が予定されておりま更に外国の方が二~三人と国内盆 両方に見識の高い、高階先生ネーターは、西洋文化、日本 化勲章受章者)が決定されており、

し参画していきたいと考えておりしており、当協会は積極的に協力 大変意義深い内容になると期待

国際シン に期待

ポジウ 開催

世界盆景対話

2013年10月2日~ 中国・西安

4日

!!



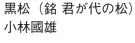
五葉松 須藤雨伯

この樹は、40年くらい前にあまりに葉性が美しいので入手したものです。当時は、文人風で足元 のサバに寂びた味わいが有り、飄々(ひょうひょう)と枝が流れ、抑揚のある文人木でした。現在は、 幹に太味が増し、古色と風格が感じられます。



五葉松 阿部健一

この盆栽は、筏吹き株立ちで30年程、盆養を 続けているものです。株立ちは何幹立ちであろ うと一幹一幹に姿を出してやり、その上で親子 のバランス、そして全体のバランスをとってや る事に気配りして手入れを続けております。姿 の中に風が吹き抜ける余韻を感じて頂ければ幸 いです。



石付き盆栽として三河黒松の代表的 な名木です。盆栽は個性と調和が 重要ですが、この樹のきき枝と石と のバランスは、長い時間の持ち込み よって格調高くなってきました。







オリーブ ロレンツォ・アニョレッティ (イタリア) 春花園(東京都江戸川区)で修業し、今は日本盆栽作家協 会のヨーロッパ支部のプレジデントをしています。 これまでに何本もの山採りをしていますが、このオリーブ もその一本です。





赤松 吹田勇雄

10年以上前に山採取りのものを寄せ植えにした作品で す。当時は右側にもう2本植えていたのですが、盆栽と しての空間と流れを強調するため、それを省き、右流れ を演出しました。鉢を薄い南蛮丸に移し変えたことに よって、より広い空間が生まれ、品格が向上しました。



赤松 福舘 治

厳しい屈曲と野趣あふれるサバ幹の線をできるだけ強 調するように枝葉を落とし、整えました。文人盆栽と は何かと強く考えさせられた作品です。厳しい環境で 生きる赤松の枯淡寂静を表現するよう心がけました。

